

第 47 回 三条市小中一貫教育推進委員会 会議録

1 開会宣言 令和 8 年 6 月 26 日（金） 午前 10 時 00 分

2 場 所 三条市役所栄庁舎大会議室

3 出席状況

(1) 出席委員 雲尾 周 委員長、高橋 喜一郎 副委員長
須藤 友希 委員、神林 一平 委員、古川 真哉 委員、
長 滋徳 委員、廣瀬 貴久 委員、関 拓也 委員、
高橋 雅博 委員、須藤 剛司 委員、住吉 英明 委員、
鮮良 靖宏 委員、中村 正之 委員、倉田 孝英 委員、
浅間 正直 委員、麩澤 文雄 委員、今井 一寿 委員
丸山 彩 委員 （18 人）

(2) 欠席委員 今井 将智 委員（1 人）

(3) 事務局職員

教育長 熊倉 隆司

教育部長 平岡 義規

教育総務課長 小林 秀明

子育て支援課長 小林 正芳

学校教育課長 相田 覚

教育センター長 樋口 信英

統括指導主事 武石 和仁、指導主事 秦野 真一、
指導主事 渡邊 邦博、指導主事 稲葉 謙太郎、
特別指導主事 和田 薫

4 傍聴人 なし

5 会議次第

(1) 開会

(2) 開会の挨拶

(3) 報告

(4) 議事

(5) その他

(6) 閉会の挨拶

(7) 閉会

6 会議の経過及び結果

(事務局 渡邊)

4月になり役職の交代があった方々には、机上に委嘱状を配布させていただきました。後任の方は、前の方の残任期間を担っていただくことになります。どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 開会

(2) 開会のあいさつ

(雲尾委員長)

新しい学習指導要領にむけて審議が進められていて、例えば授業時数が非常に多いとか、教える内容が多いということをどう減らしていくか、今まで最低時数と言われていて、標準時数の140時間とか150時間とか、そういった教科別のものをある程度自由にしていいという内容が検討されていて、それを試しにやる学校が出てくるとい形になっています。

そういったことで、様々な変更もあるところでありますけれども、小中一貫教育については、三条でやってきたことを、更に一層、むしろ進めやすくなると思います。そういったこともございますので、また本日も小中一貫教育の推進に向けて活発な御審議の程よろしくお願いいたします。

<自己紹介 雲尾委員長から順に委員の自己紹介、事務局の自己紹介>

(3) 報告

(雲尾委員長)

最初に、出席者数の確認を事務局お願いします。

(事務局 武石)

出席者数の確認 出席者19人の委員の内、18人の委員の出席で、規定により半数以上の出席がありますので、本会議は成立しております。

(雲尾委員長)

第46回 小中一貫教育推進委員会検討内容の概略報告、事務局から説明をお願いします。

第46回小中一貫教育推進委員会検討内容（概略）

・事務局 武石が説明(資料No.1、別紙)

(雲尾委員長)

ただいまの説明につきまして御発言がある方いらっしゃいましたらお願いします。

[質疑なし]

(4) 議事

① 令和８年度の小中一貫教育の推進について

・事務局 武石が説明（資料No.2－１、別紙） スライドでも提示

（雲尾委員長）

ただいまの説明につきまして御発言がある方いらっしゃいましたらお願いします。

〔質疑なし〕

（雲尾委員長）

それでは、「小中一貫教育の推進及びコミュニティ・スクールのスケジュール」について事務局から説明をお願いします。

② 小中一貫教育の推進及びコミュニティ・スクールに関わるスケジュールについて

・事務局 武石が説明（資料No.2－２、別紙）

（雲尾委員長）

ただいまのスケジュールにつきましても御発言がありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

それでは、今年度の小中一貫教育について、事務局からの説明のとおり進めていくということで、御了承いただけますでしょうか。

（了 承）

（雲尾委員長）

それでは、「令和８年度三条市小中一貫教育アンケート（共通項目）の記載文言について」事務局から説明をお願いします。

③ 令和８年度三条市小中一貫教育アンケート（共通項目）の記載文言について

・事務局 武石が説明（資料No.3、別紙）

（雲尾委員長）

アンケートの記載方法につきまして御質問御意見等ありましたら願います。

（雲尾委員長）

それではこのアンケートの記載方法につきまして、事務局説明のとおりで進めていただくということで御了承いただけますでしょうか。

（了 承）

予定した議事は以上になりますが、事務局、他に何かありますでしょうか。

〔事務局：なし〕

ご協議ありがとうございました。以上で協議を終了し、進行をお返しします。

(5) その他

① 各学園のグランドデザインについて

（事務局 渡邊）

今年度の各学園の小中一貫教育の取組について、グランドデザインに基づいて御紹介いただきます。

恐れ入りますが、各学園２分程度で、今年度の特色と変更点に絞って御紹介くださ

い。

では、学園代表の方よりしくお願いいたします。三条嵐南学園から順にお願いいたします。

＊各学園の小中一貫教育推進リーダーから学園の取組内容を説明

(資料No.4、別紙)

(事務局 渡邊)

各学園の取組について御質問がございましたらお願いいたします。

(雲尾委員長)

おおじま学園の草刈りは、どこを草刈りするのか教えていただけますか。

(住吉委員)

須頃小学校では、総合グラウンドのところで草刈りをします。大島小学校は、大島小学校の周りの近くの草刈りをします。

(雲尾委員長)

そこに中学生が行くのでしょうか。

(住吉委員)

卒業した学校にそれぞれ中学生が行って、一緒に9学年で草刈りをして、地域の方にも声をかけて参加してくださいという活動です。

(事務局 渡邊)

ほかにいかがでしょうか。

[意見・質疑なし]

② その他

(事務局 渡邊)

参加された委員の皆さまから、小中一貫教育に関しまして、御意見、御質問等がございましたら、お出しいただきたいと存じます。

(須藤委員)

グラウンドデザインを元に、各校の示すところであったり、小学生と中学生が共同で学んでいる姿、交流する姿を具体的にイメージすることができました。人と人とをつなぐ上でとてもいいことですし、教育の上で相互作用があるのかなと思いながら、各学園ごとに特色のある取組をされていることがとても勉強になりました。

大崎学園さんの前期課程の方で、様々な事態に柔軟に対応できるように、学年主任を担任から切り離しているというところ、とても興味深いと思いました。

教科担任制も導入しているということで、成果や課題を年度末等に聞かせていただけたらありがたいです。

(神林委員)

三条市の小中一貫教育を通してめざす子どもの姿というものを大切にして、学びの系統表などを大切にしながら、子どもの姿をつないで行くということを様々な学園で

取り組まれているというところから学ばせていただきました。

附属長岡小学校としては、中越地域、ひいては県の教育を支えてさせていただければと思いますので、人間関係をつくるといった面やそれをどう授業とつなげていくかといった面も、小と中を分けるのではなくて、同じような子どもの主体性を支える教師のマインドの面も一緒に学ばせていただけたらなというふうに思いますし、今年度、私自身は三条市の学級づくり研修も担わせていただいていますので、これからの時代、子どもにどう寄り添っていくか、またはそれをどう集団としてつなげていくかといった面でも、小中合わせて御協力させていただいたり、一緒に学ばせていただければと思いますので今後ともよろしく願いできればと思います。

(浅間委員)

人の話をよく聞く子どもを育てていただきたい。

(麴澤委員)

児童生徒の数がどんどん減少していてこれからどうなるのか。そういった面で学園構想も一つの必要不可欠な手段なのかなと感じているところです。

私たちの地区の集落にも小学生がいない集落がいくつかあります。さらに中学生も。そうするとだんだんそういうところが広がっていくということでもありますので、若い人たちがいなくなるという状況にならないような方向をめざしていけたらありがたいなと感じています。

(今井一寿委員)

私は、下田でも奥地の方の森町地区といいまして、雪が深くて戸数も減少しています、若者もだいぶ郊外に流出している所で、それがやむなく統合ということになるわけですが、地域の子どもにも伝統を残せるような、自分の土地に生まれて良かったなということが将来にわたって一生記憶に残るようなそういうものになってくれればなと期待しております。

また、先んじて小中一貫ということで大変すばらしいカリキュラムで成功していらっしゃるということを、今日、話を聞きまして大変安心しております。今後も期待しておりますのでよろしくお願いします。

(丸山委員)

三条市が小中一貫としてみんなが同じねらいを持って、小学校、中学校がこのような取組をしているというのを、すごく実感することができて、三条市が全体として、どこの中学校に行っても本当のねらいは一緒ということをすごく感じる事ができたので、これからの三条市の未来が楽しみになりました。

(古川委員)

三条市でめざしている小中一貫教育は「教育哲学であり、教育方針であり、具体的手段である」というその言葉が私にはとってもものすごく刺さった言葉でした。

今日の資料 2-1 のキーワードがそれぞれすごく大事だと思っている。「自分を大切に

し、人を思いやる心、人とかかわる力」「連続する教育課程」「小中一貫カリキュラムの活用」。子どもたちをより豊かな人間性に育てるために、この小中一貫教育を上手に使っていきたい。

学校だけでは難しい時代になってきましたので、今、自治会長さんからもありましたが、地域の皆様方からお力添えをいただきながら、一緒に子どもたちと関わっていただきながら、子どもたちの成長につなげていきたいと決意を新たにしました。

(熊倉教育長)

各学園の今年度のグランドデザインについて、短い時間で恐縮だったが説明していただきました。それぞれの学園の今年度の取組について、昨年度の反省・振り返りに立って、今年はここに力を入れていくんだというところを、ほんとに短い時間の中ではありましたけれども伝わってきました。力を入れていくんだという所をよろしく願いいたします。

四つ葉学園の話の中で、学力分析をしっかりと対策実践をしていくんだけれども、検証の部分の特にしっかりやっていくんだというお話がありました。実践するところまではみなさん共通でされると思うんだけれども、検証という部分を大事にされるという所、ほんとに大切な部分だとお話を聞いていた所でありますので、それぞれ今年度の取り組まれたことについての検証の方もよろしく願いしたいなと思っております。

そして、ただの郷学園さんについては統合を目前にしまして、これまでペア校、トリオ校の小学校の交流をやっていたところを、5校一緒にということで今年度進めていくんだというお話がありました。具体的にはもう低学年の方が行ったということで話があったんですが、また実際、高学年は、今日、修学旅行に行ってもらっしやるということですけれども、中学年、高学年もどんな交流がこれから進められていくのか、具体的にお話をお聞きできればありがたいなというふうに思ったところです。

それぞれの学園の今年度の目玉の部分についてお聞かせいただきましたので、また、第2回、第3回の所で今年度の活動の様子をお聞かせいただければありがたいなというふうに思っておりますので、それぞれ、また学園内で連携を図りながら進めていただければありがたいなと思って聞かせていただきました。

(6) 閉会のあいさつ

(高橋副委員長)

本日の会議では、三条市の一貫教育の考え方について説明いただきまして理解したところです。また、各学園よりグランドデザインの重点や新しいところを紹介していただきましてありがとうございました。そして、委員の方々からはそれぞれの立場で貴重な御意見をいただきまして、ぜひ生かしてえいきたいなというふうに考えているところです。

今日のお話の中で、小中一貫の命がカリキュラムであるというお話を受けて、少しお話しさせてもらいたいと思うのですが、資料の中の2枚はぐっていただいたところに、小中一貫教育カリキュラム、赤字で、キーワードとしては自学園化、日常的なカリキュラムの活用、日常化ということになると思います。

うちの学園では、先ほど廣瀬委員の方から◎のカリキュラムの紹介がありましたけれども、こころ部という所で集団づくりカリキュラムというのを作っています。神林委員からもお話がありましたけれども、小・中それぞれ分けるのではなくて9年間連続して育てていくということなんです、集団を作っていくときに共通する物は何か、段階的に3つの期で重点をかけていく物は何かということで明示しました。

それを9年間それぞれ見通しを持ちながら、自分の今対応している子どもたちに重点をかけるところはどこなのかというのを分かった上で教育に当たるということもあるというふうに思います。ぜひ、効果が上がるような取組をしていきたいなと思っていますところ。

どこもそうなんだと思うんですけども、とてもいいカリキュラムがあっても実際には使わないということはあるかもしれませんし、また、カリキュラムを見直して自学園化したけれども、それで力尽きて使われないということもあることも心配されますので、ぜひ、それぞれまたどんなふうな研修をしたりですか、どんなふうな進捗をされているのか、ここで情報交換をしながら、また、御指導もいただきながらみんなで進めていけたらいいなと思っていますところ。

結びになりますが、本日様々な御意見・御指導ありがとうございました。

またみんなで進めてまいりましょう。

(事務局 渡邊)

雲尾委員長並びに各委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げますとともに、長時間にわたりまして御参加いただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

次回は11月ごろに開催を予定しております。日時が決まり次第、御連絡申し上げます。

最後に事務連絡をいたします。本日、提出書類をお持ちいただいた方で、まだ書類の提出をいただいていない方は、会の終了後に事務局の方に御提出をお願いいたします。

以上をもちまして第47回三条市小中一貫教育推進委員会を終了いたします。お帰りの際は、事故等に十分気を付けてお帰りください。本日は大変ありがとうございました。

(7) 閉会 午前11時10分